

授業科目

ケアマネジメント演習

担当教員名 原口 彩子	対象学年	1	対象学科	社会福祉学
	開講時期	前期・後期	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	60

授業の概要

ケアマネジメントは、実践現場で開発されてきたアプローチである一方、制度・政策的に位置づけられている側面をもつ。このようなケアマネジメントの特色を踏まえたうえで、前期は論文等の論理構成を読み解くことを重視して文献を講読し、後期は各自が取り上げた特定の事例・場面を分析的に論述する演習を実施する。

なお、ケアマネジメントはソーシャルワークの手法の一つであるため、検討する分野（障害、高齢等）は特定しない。

授業の目的

ケアマネジメントの歴史的背景や種々のモデルを概観し、実践との兼ね合いで多角的な分析ができるようになることを目指す。また将来、実践現場においてケアマネジメントの手法をクリエイティブに使いこなし、クライアント本位、かつバランス感覚のある多職種連携を立案・実施できるようになることをめざす。

学習目標

1. ケアマネジメントの成り立ち・起源・制度的背景、主要概念、方法論や実践モデル等について説明できる。
2. 各自の問題関心・事例集や実践経験から、特定の事例・場面をとりあげ、ケアマネジメントのプロセス等と関連づけて分析的に論述する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	講義	原口 彩子
2	ケアマネジメントに関する各自の問題関心についての討議(1)	演習	原口 彩子
3	各自の問題関心についての討議(2)、検討文献の選定	演習	原口 彩子
4	ケアマネジメントの基礎的な理解	講義	原口 彩子
5	文献の講読と討議(1)	演習	原口 彩子
6	文献の講読と討議(2)	演習	原口 彩子
7	文献の講読と討議(3)	演習	原口 彩子
8	文献の講読と討議(4)	演習	原口 彩子
9	文献の講読と討議(5)	演習	原口 彩子
10	文献の講読と討議(6)	演習	原口 彩子
11	文献の講読と討議(7)	演習	原口 彩子
12	文献の講読と討議(8)	演習	原口 彩子
13	文献の講読と討議(9)	演習	原口 彩子
14	「ケアマネジメントに関する一考察」に取り上げる素材の発表と討議	演習	原口 彩子
15	前期のまとめ	演習	原口 彩子
16	後期の予定の確認	講義	原口 彩子
17	レポート・論文の構成について	講義	原口 彩子
18	レポートに取り上げる事例・場面についての発表と討議(1)	演習	原口 彩子
19	レポートに取り上げる事例・場面についての発表と討議(2)	演習	原口 彩子
20	レポートに取り上げる事例・場面についての発表と討議(3)	演習	原口 彩子
21	レポートに取り上げる事例・場面についての発表と討議(4)	演習	原口 彩子
22	文章を論述する際の留意点	演習・講義	原口 彩子
23	論文を構成する際の留意点	演習・講義	原口 彩子
24	レポート(案)の報告と討議(1)	演習	原口 彩子
25	レポート(案)の報告と討議(2)	演習	原口 彩子
26	レポート(案)の報告と討議(3)	演習	原口 彩子

27	レポート（案）の報告と討議(4)	演習	原口 彩子
28	レポート（案）の報告と討議(5)	演習	原口 彩子
29	レポートのタイトルについて	演習	原口 彩子
30	レポートの提出、まとめ	演習	原口 彩子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	履修者の関心にそって、下記の参考書等を候補として検討文献を選定する。初回授業までに参考書を購入する必要はない。					
参考書	「人間行動理解」で磨くケアマネジメント実践力	渡部律子	中央法規出版	2013年	2,400円＋税	
	ケアマネジメントの実践モデルー調整・仲介、給付管理、チームマネジメントー	村社卓	川島書店	2011年	2,800円＋税	
その他の資料						

評価方法

演習内の討議内容50%、レポート50%として評価する。レポートは、「ケアマネジメントに関する一考察」を仮題とし、演習での発表・討議等を踏まえてタイトルを確定する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

原口研究室：E-311
 オフィスアワー：毎週火曜15時以降
 連絡先：haraguchi@nuhw.ac.jp